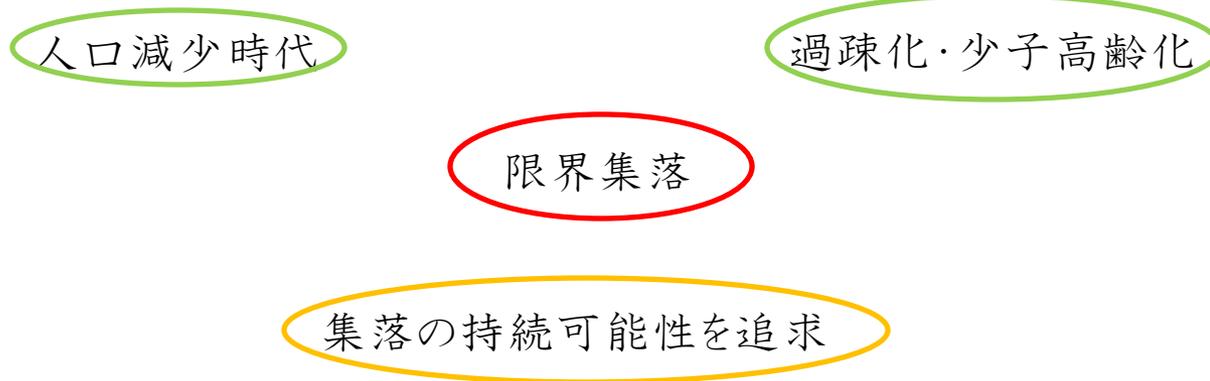




都市機能と農業生産活動から見た集落の特徴把握と課題抽出
—大分県佐伯市を対象として—

大分大学工学部福祉環境工学科建築コース
建築・都市計画研究
0556019 梶原瑠璃

1 研究の背景



3 研究の目的

- 国勢調査や農林業センサスデータをもとに、都市機能の分布・偏在などについて整理を行い、集落の特徴を把握し課題を抽出する
- 限界集落における生活圏域及び社会システムからみる今後の都市構造の在り方を明らかにすることを目的とする

4 研究の対象

限界集落

65歳以上の高齢者が住民の人口の50%以上を占め、冠婚葬祭などの社会的共同生活の維持が困難な集落



佐伯市では1割が限界集落となっている

	人口	世帯数	高齢者数	高齢化率 (%)
佐伯	48,838	20,353	12,887	26.4
上浦	2,452	1,014	953	38.9
弥生	7,489	2,646	2,111	28.2
本匠	1,884	725	704	39.3
宇目	3,472	1,365	1,419	40.9
直川	2,734	1,042	1,002	36.7
鶴見	3,848	1,636	1,407	36.6
米水津	2,337	873	771	33.0
蒲江	8,533	3,388	3,069	36.0
合計	81,587	33,042	24,359	29.9

5 集落と基幹産業の関係

産業構成比(平成17年度国勢調査)

	行政区域単位	第1次産業	第2次産業	第3次産業	高齢化率
旧市町村単位	佐伯	5%	28%	67%	26%
	上浦	8%	33%	59%	39%
	弥生	8%	37%	55%	28%
	本匠	16%	31%	53%	39%
	宇目	31%	20%	49%	41%
	直川	12%	34%	54%	37%
	鶴見	22%	36%	42%	37%
	米水津	27%	25%	48%	33%
	蒲江	30%	22%	48%	30%
	高齢化率50%以上の大字単位	大字河内	9%	35%	56%
常盤西町		10%	40%	50%	50%
大字二栄		4%	45%	51%	51%
大字堂ノ間		13%	31%	56%	51%
大字中越浦		6%	47%	47%	53%
大字小半		38%	25%	37%	53%
大字片神浦		9%	17%	74%	55%
大字木浦内		21%	19%	60%	55%
大字大島		26%	21%	53%	60%
大字塩内浦		26%	26%	48%	61%
大字久保浦		60%	13%	27%	62%
大字井ノ上		19%	28%	53%	62%
大字山部		22%	42%	36%	63%
大字木浦鉦山		26%	48%	26%	66%
大字日向泊		17%	25%	58%	75%

高齢化率

高



産業構成比は第1次産業と第2次産業が中心

高



低

産業構成比は第3次産業が中心

低

6 農林業センサスをもとにした集落の分類と特徴

対象集落:175農業集落

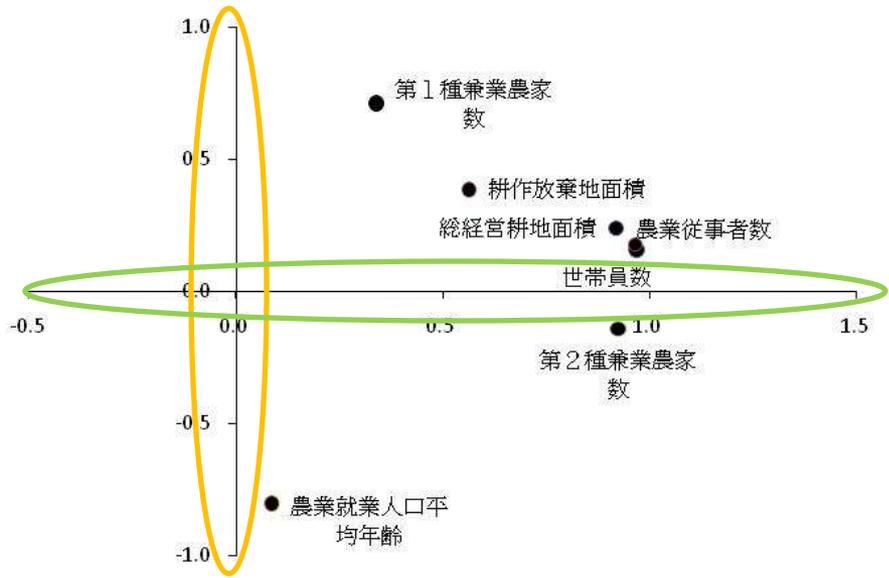
農業からみる集落の特徴の把握を行う

2005年農林業センサスデータ
7指標を選定

主成分分析

変数	第1主成分	第2主成分
世帯員数	0.967	0.159
農業従事者数	0.964	0.179
第2種兼業農家数	0.924	-0.142
総経営耕地面積	0.918	0.240
耕作放棄地面積	0.563	0.387
農業就業人口平均年齢	0.086	-0.803
第1種兼業農家数	0.340	0.711
固有値	4.000	1.435
寄与率	57.147	20.497
累積寄与率	57.147	77.644

第1主成分:
「多様な農業・生産活動を示す因子:
農業・生産活動多様化因子」



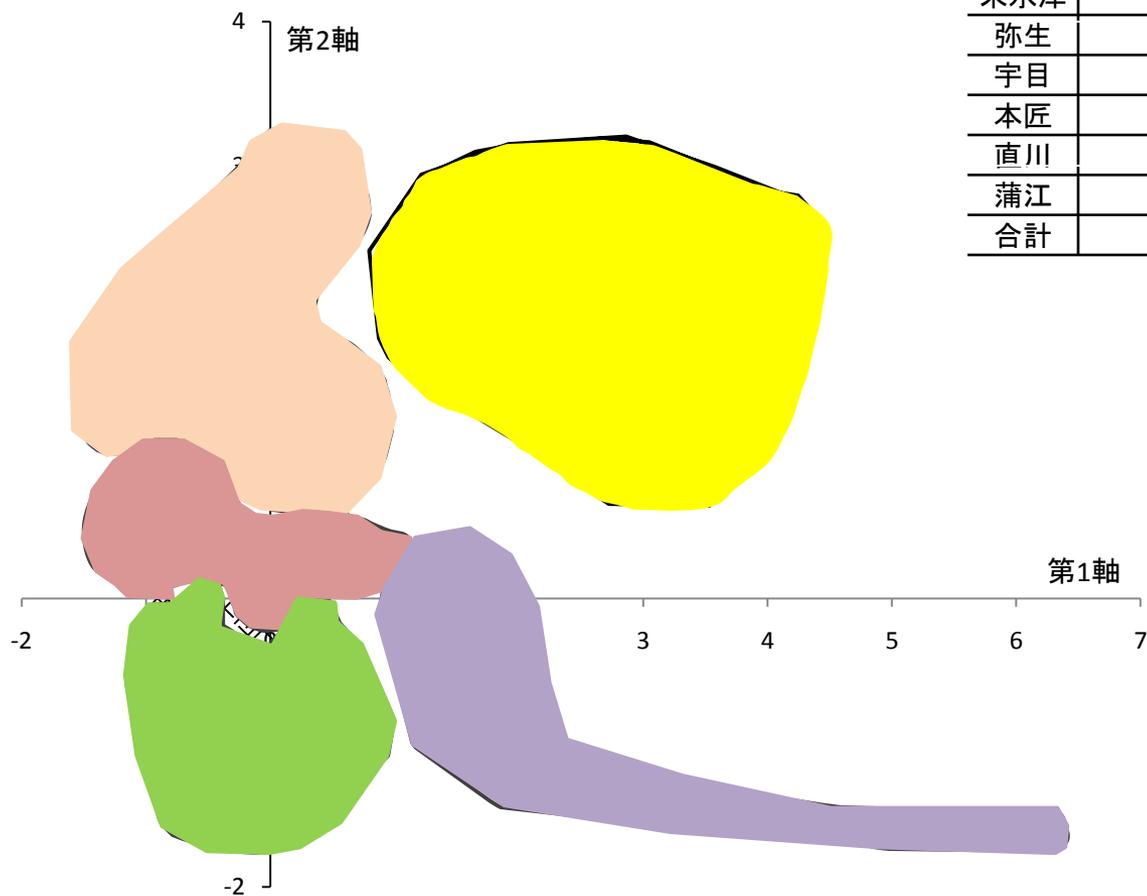
第2主成分:
「農業を主とする生産活動が主である因子:
農業特化因子」

クラスター分析

農業からみる集落の類型化

クラスター分析結果

地域	クラスター					合計
	1	2	3	4	5	
佐伯	17	5	7	20	10	59
上浦	2					2
鶴見	2			1	1	4
米水津			1	3	1	5
弥生	7		2	18		27
宇目	8	1	5	10	5	29
本匠	5			7	2	14
直川	4			23	2	29
蒲江	1	1			4	6
合計	46	7	15	82	25	175



- × クラスター1 → 中規模農業・都市近郊外縁型集落
- クラスター2 → 大規模農業型集落
- ▲ クラスター3 → 中規模兼業農家型集落
- ◆ クラスター4 → 小規模農業集落・都市近郊型
- クラスター5 → 専業農家型集落

農林業全体

□ <その他の値すべて>

Cluster

□ <Null>

1

中規模農業集落・都市近郊外縁型：主要幹線道路沿いの集落の外側に分布している

2

大規模農業集落・都市近郊型：農業収率相模が大きい

3

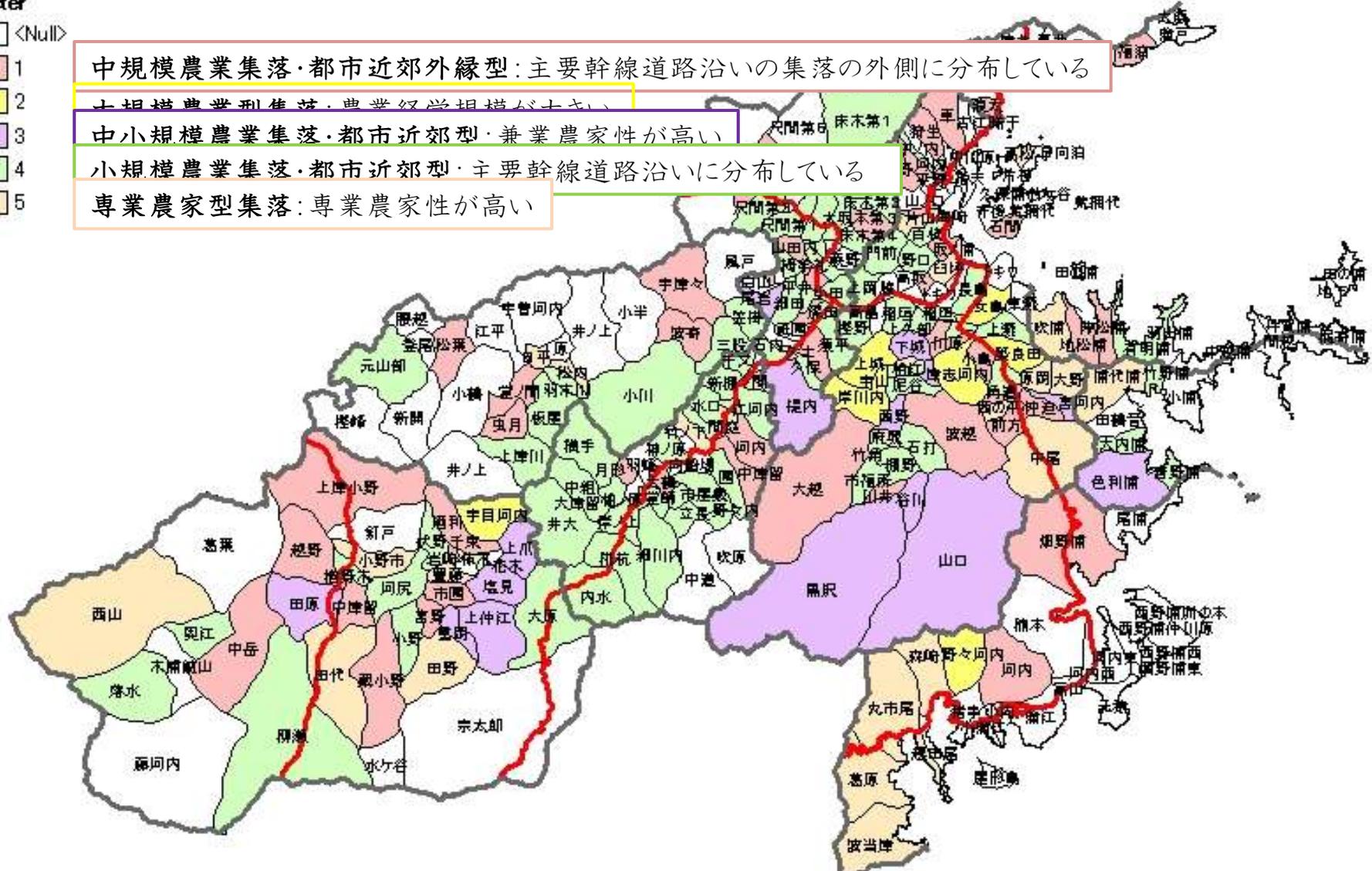
中小規模農業集落・都市近郊型・兼業農家性が高い

4

小規模農業集落・都市近郊型：主要幹線道路沿いに分布している

5

専業農家型集落：専業農家性が高い



8 山間集落の生活実態

アンケート概要

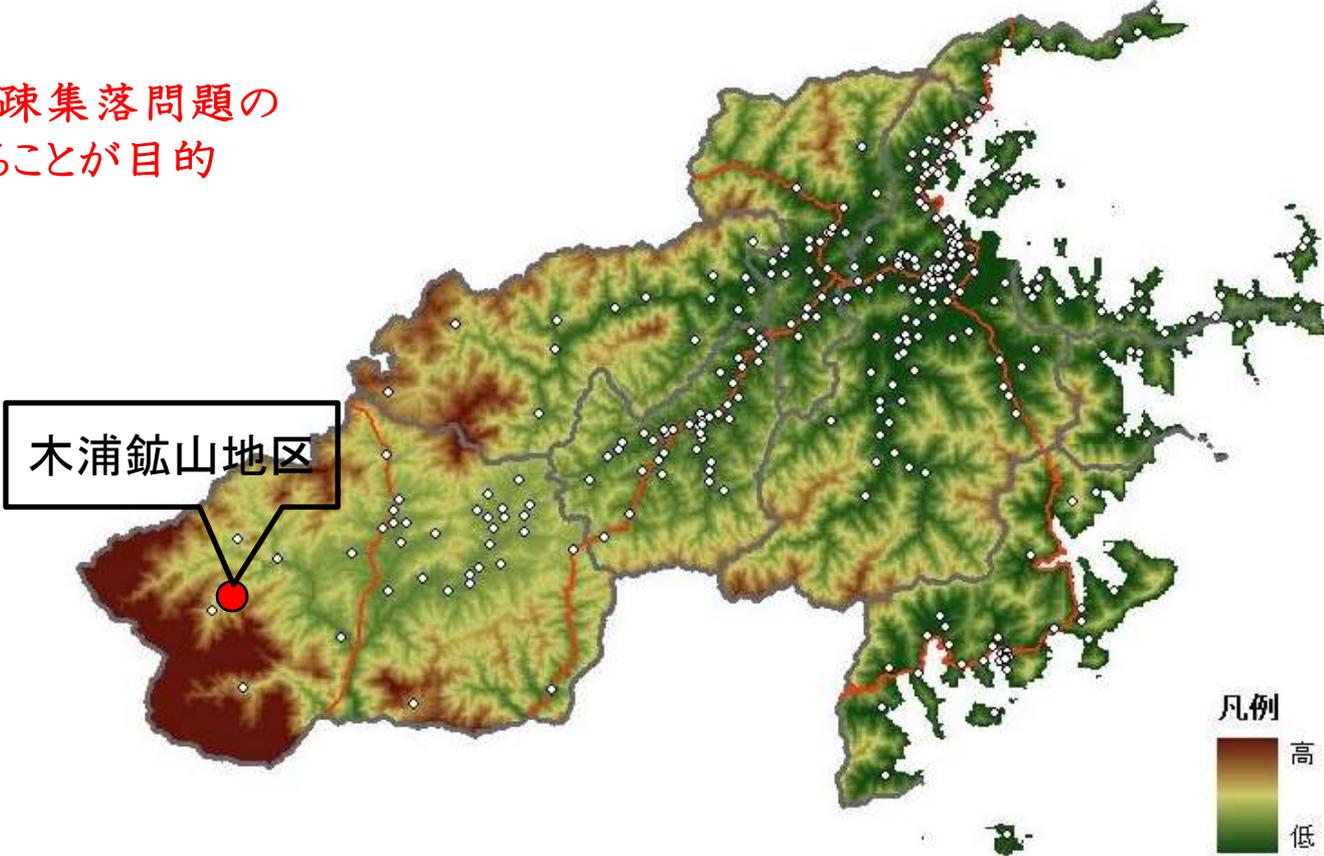
対象集落: 宇目 木浦 鉦山 地区
調査方法: 留置調査
調査対象: 地区内の全32世帯

選定理由



- 生活利便性の低さ・アクセスビリティの低さが大きい地域が宇目であった
- 昔鉦山で栄え、産業の衰退に伴って人口減少が進行した地域であり高齢化率が50%を超えている限界集落
- 国道326号線が通ることにより生活圏域と行政区域の違いがあるのではないか

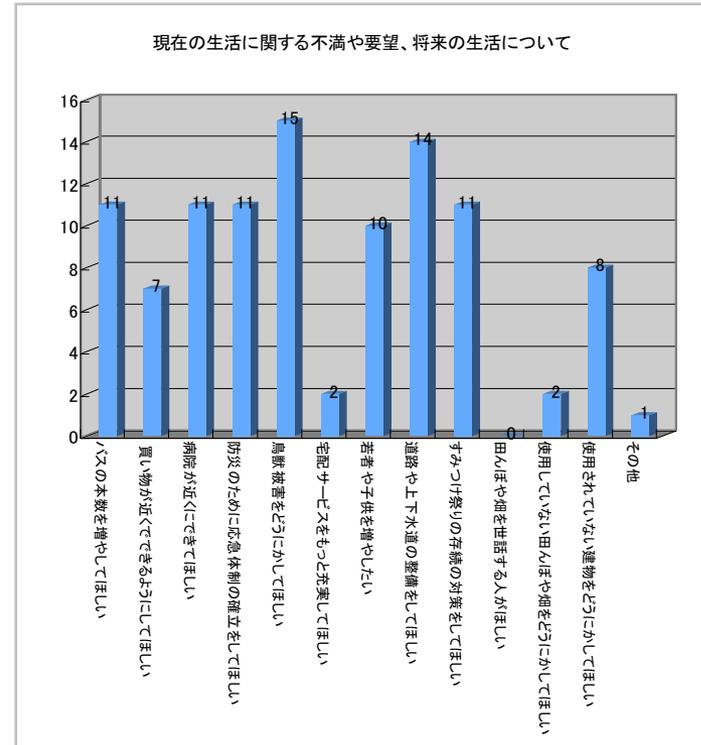
実態調査の結果を考察し過疎集落問題の解決の糸口となる知見を得ることが目的



単純集計結果

鳥獣被害やインフラ整備、生活利便性などの満足度が低いが、集落の雰囲気や居心地の良さは満足度が高い結果となった

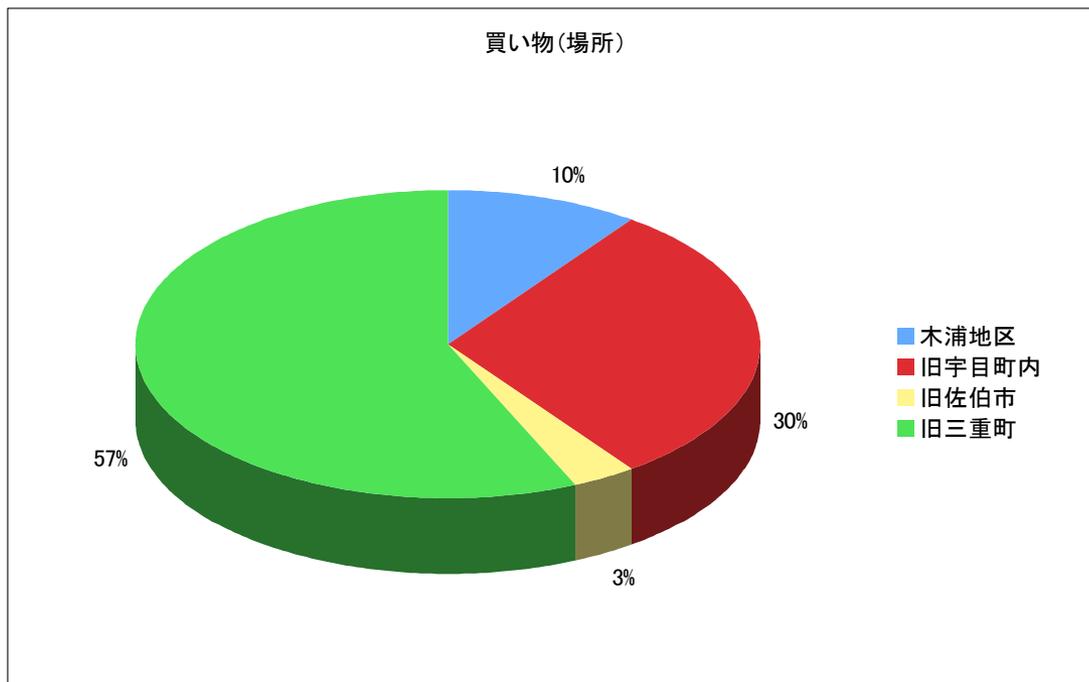
項目	回答数	回答者数に対する割合(%)
バスの本数を増やしてほしい	11	10.7
買い物が近くできるようにしてほしい	7	6.8
病院が近くにできてほしい	11	10.7
防災のために応急体制の確立をしてほしい	11	10.7
鳥獣被害をどうにかしてほしい	15	14.6
宅配サービスをもっと充実してほしい	2	1.9
若者や子供を増やしたい	10	9.7
道路や上下水道の整備をしてほしい	14	13.6
すみつけ祭りの存続の対策をしてほしい	11	10.7
田んぼや畑を世話する人がほしい	0	0
使用していない田んぼや畑をどうにかしてほしい	2	1.9
使用されていない建物をどうにかしてほしい	8	7.8
その他	1	1.0
合計	103	100



生活利便性を高めること、集落内の雰囲気を維持していくことが大切である

木浦鉦山地区の生活圏域は多場面で近隣の豊後大野市三重町に属している結果となった

項目	回答数	回答者数に対する割合(%)
木浦地区	3	10.0
旧宇目町内	9	30.0
旧直川村	0	0
旧本匠村	0	0
旧鶴見町	0	0
旧上浦町	0	0
旧弥生町	0	0
旧米水津村	0	0
蒲江町	0	0
旧佐伯市	1	3.3
大分市	0	0
旧三重町	17	56.7
臼杵市	0	0
津久見市	0	0
延岡市	0	0
その他	0	0
合計	30	100

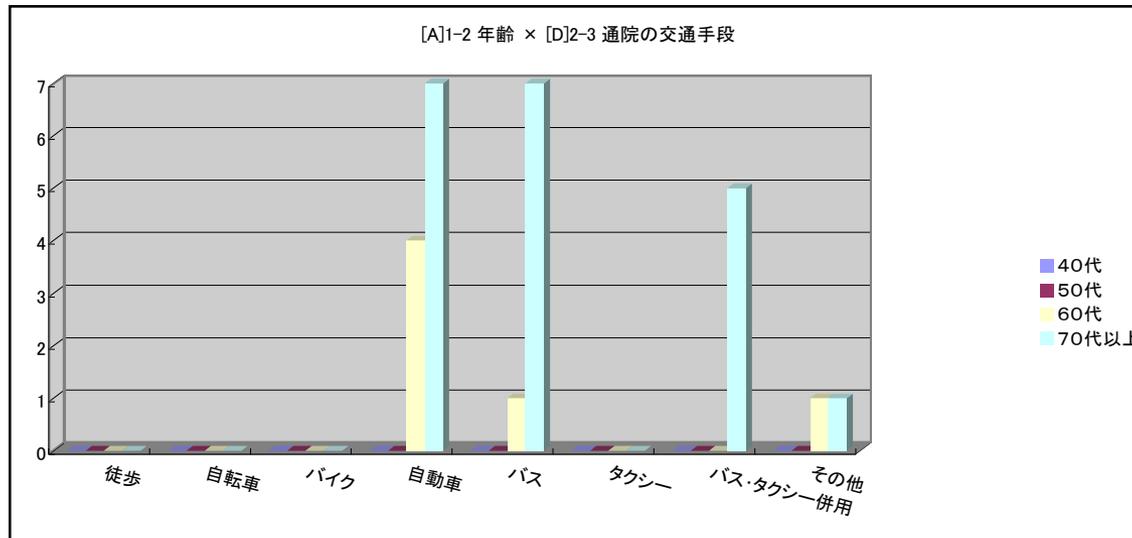


生活圏域と行政区域の違いを把握することができ、市町村合併の問題が浮き彫りになっている

クロス集計結果

年齢が上がるにつれ自家用車の使用は減少し、公共交通を使用が増加している

	自動車		バス		バス・タクシー併用		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
40代	0	0	0	0	0	0	0	0
50代	0	0	0	0	0	0	0	0
60代	4	36	1	13	0	0	1	50
70代以上	7	64	7	88	5	100	1	50
合計	11	100	8	100	5	100	2	100



地区内の公共交通であるバスは1日に運行している本数が限られており高齢化率が上がるにつれ交通弱者が増加することが予測される

集落ごとに個別の様々な問題が立ち現れる中で地域の自治体や住民らが生活や地域の実情に即した施策に関する意見を持ち立案し、それを行政のみではなく民間との協働による支援が重要になってくるのではないだろうか考える

付録スライド